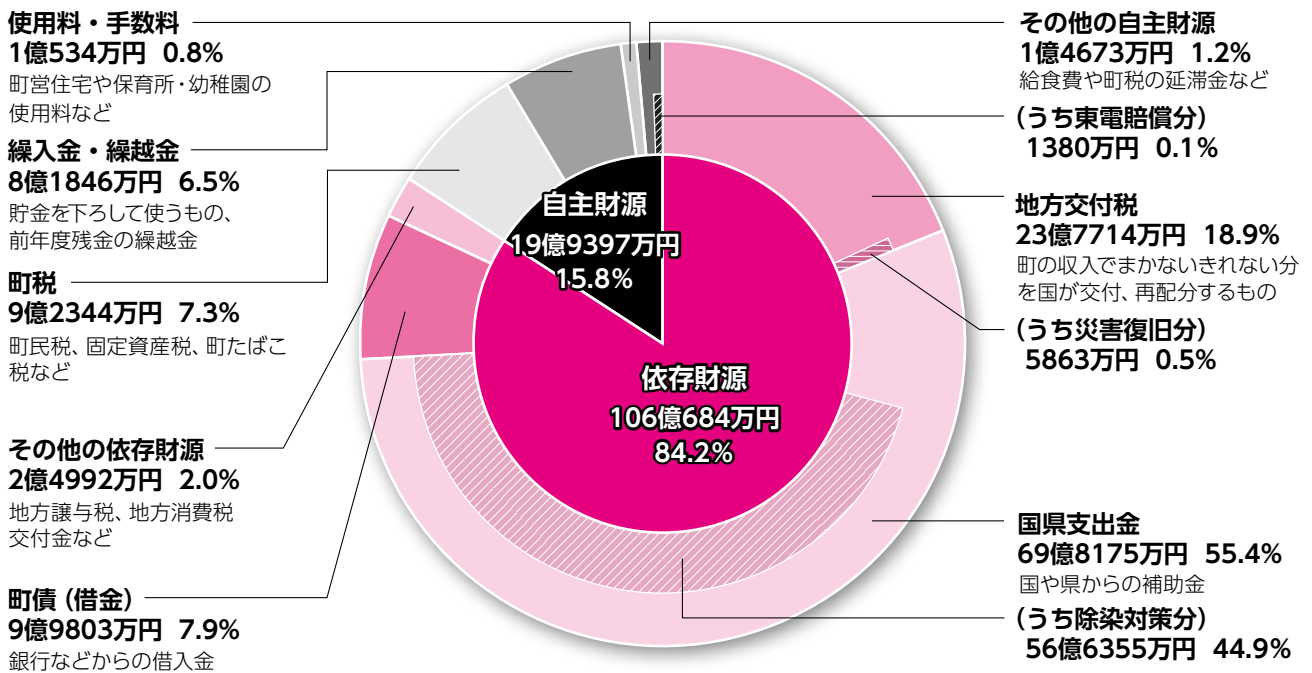


一般会計歳出 118億8621万円

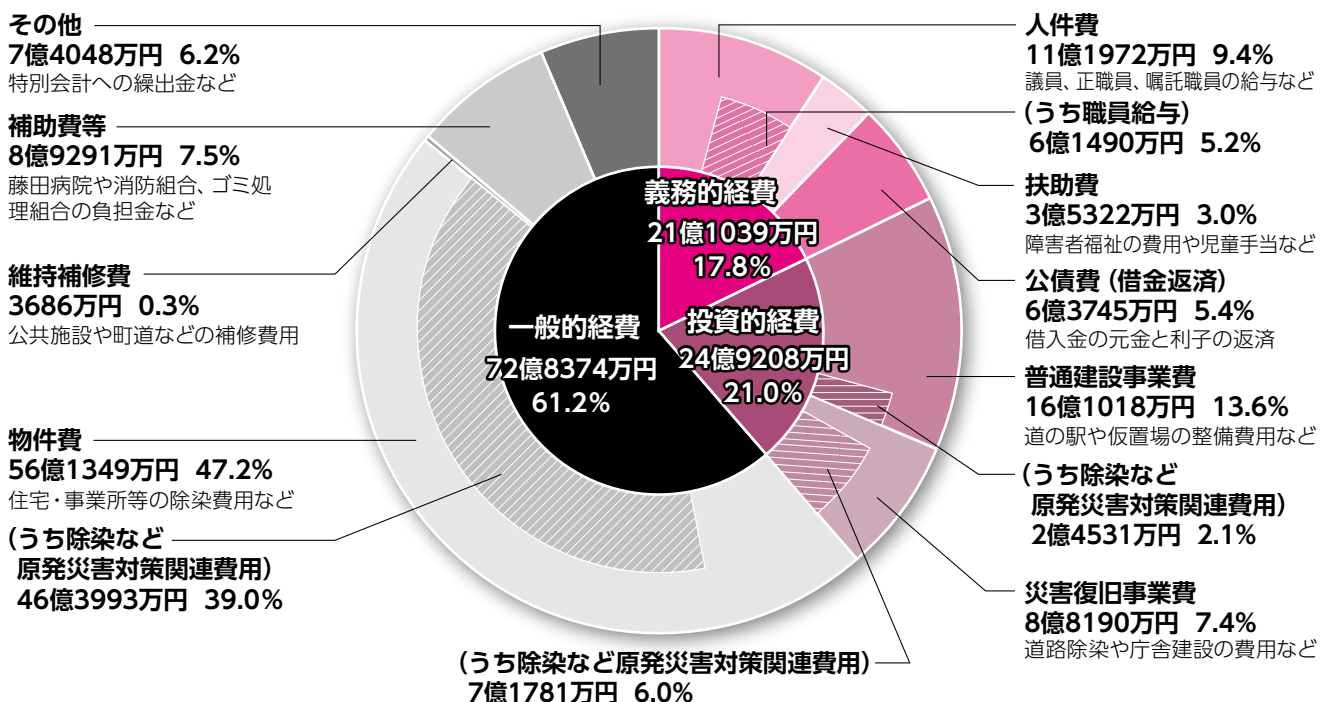
センターホールを改修

町の文化振興の拠点となる

歳入 126億81万円



歳出 118億8621万円



9月
定例会

文化 改めて



初めてのキッズフェスティバルも文化センターで開催されました

9月議会定例会は9月6日から14日まで9日間の会期で開かれました。

今定例会には、平成27年度決算認定や地域密着型特別養護老人ホームとグループホーム整備補助金などを増額する補正予算、町文化財センターの条例制定など28議案が提出され、すべて原案どおり認定、可決、同意しました。
一般質問では5人の議員が登壇し、7項目にわたって町政をただしました。

一般会計決算

平成27年度一般会計決算額は、歳入総額126億81万円(前年比13・0%増)、歳出総額118億8621万円(前年比12・6%増)となり、翌年度に繰越す事業の財源を差し引いた実質収支額は5億5231万円(前年比15・8%増)の黒字決算となりました。

おもな事業は、道の駅の整備や、除染対策(仮置場の管理・整備、住宅などの除染、除去土壌の搬出)の本格的な推進、老朽化に伴う中学校外壁工事、役場機能移

転で震災後使用不可となっていた文化センターホールの改修などが挙げられます。今後とも地方創生や歴史まちづくり計画の推進など主要事業が控えているため、さらなる財源確保と歳出削減などに取り組み、安定した財政運営に努めなければなりません。

歳入

自主財源の中心となる町税は前年比2146万円増、依存財源である地方交付税は、庁舎建設による震災復興特別交付税の減少に

より前年比2億9584万円減となりました。

歳出

義務的経費(人件費などは前年比1億6484万円増、投資的経費(災害復旧費などは4億2323万円減、その他の経費(積立金などは1億6939万円減)となりました。原発災害対策費用は、住宅除染の最終年

度となったことから、26年度より15・2億円増加しました。

■ 主な基金年度末現在高

基金	平成27年度	平成26年度
財政調整基金	8億5304万円	8億5161万円
復興基金(平成26年度新設)	6738万円	1億5002万円
東日本大震災復興(支援)交付金基金	3234万円	8403万円
ふれあい福祉基金	1億5197万円	1億5197万円

■ 平成27年度特別会計決算状況

会計名	歳入総額	歳出総額
公共下水道事業	2億3637万円	2億3278万円
後期高齢者医療	1億1616万円	1億1488万円
国民健康保険	14億6100万円	13億8135万円
介護保険	10億6724万円	10億3972万円
土地開発事業	4583万円	4446万円
渇水対策施設	785万円	756万円
大木戸財産区	142万円	141万円
入山財産区	19万円	16万円

■ 平成27年度水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億6294万円	2億2455万円
資本的収支	6652万円	1億2024万円

資本的収支の不足分は過年度分損益勘定留保資金及び減債積立金で補てんしました。

■ 町債(借金)年度末現在高

会計名	平成27年度	平成26年度
一般会計	63億1050万円	58億7400万円
下水道	16億9048万円	17億4002万円
合計	80億98万円	76億1402万円